

自動車台数を通じて各都道府県での生活環境を読み取る

2012 7/14

今泉ゼミ 3 年 田中 暁丈 (21011248at@tama.ac.jp)

中田 康平 (21011274kn@tama.ac.jp)

中山 大輔 (21011282dn@tama.ac.jp)

1. 目的

現在日本では、車離れが進んでいるといわれています。では、ホントに車を持っていない人が増えているのか、20 年前と現在の各都道府県の平均所得額と自動車保有台数を調べました。

2. 仮説

所得が増加すると、台数も増加する。交通手段が一家に一台から一人一台になる。しかし、都市型都道府県では、大量交通輸送手段としての鉄道網の整備がなされているので、一家に一台から増えないのでは。

3. 調査方法

統計ソフトの「R」を使って解析してみる。

4. 著作権

総務省統計局・政策統括官・統計研修所ホームページから転載